



福島県立梁川高等学校
学校だより
知性 誠実 責任
第 1 号
令和2年4月8日（水）

令和2年度着任式

4月8日（水）梁川高校の令和2年度がスタートしました。今回の人事異動により、6名の教職員が転出し、新たに次の7名が本校の教職員となりました。

教頭	急式 祐子（家庭）	福島県教育センター（指導主事）より
教諭	佐藤 凌（地理歴史・公民）	新採用
非常勤講師	渡邊 昭則（国語）	安達高等学校より
時間講師	樋口 晃司（数学）	福島中央高等学校より
時間講師	八木倫明（地理歴史・公民）	相馬農業高等学校飯舘校より
主幹兼事務長	齋藤正一	県災害対策課（主幹兼副課長）より
非常勤学校司書	飯沼彩紗	新採用

今年度の梁川高校は、総勢35名の教職員で創立101年目を迎える学校を運営していきます。

第1学期始業式

4月1日（水）から部活動などの教育活動を再開していましたが、4月8日（水）は、新2年生28名、新3年生36名が登校しました。本校では、着任式と始業式を行うために、新型コロナウイルス感染症対策として、生徒同士の距離をあけること、換気をする事、マスクをすること、消毒液を使うこと、校歌を歌わないこと、式の時間を短縮することなどの対応をしました。

始業式では、校長から以下のような話をしました。

2・3年生の皆さんに持ってほしいものがあります。それは「自信」と「誇り」です。自分の将来のことを真剣に考える。目標を定める。計画を立てる。実行する。目標が達成される。そして小さな自信をつける。これを高校生活で何度も繰り返す。すると、小さな自信が大きな自信へと変わっていきます。最終的には、このような努力を重ねた自分の高校生活に誇りを持ってほしいのです。

今年度、令和2年度は1年生27名、2年生28名、3年生36名、あわせて91名で創立101年目を迎える梁川高校の教育活動をスタートさせます。91名、一人一人が、自信と誇りを持つことができるように努力してくれるものと期待しています。